

# 地域包括支援センター坂下通信

## 認知症の人が住んでいる世界を理解するシリーズ①

記憶障害が進むと、起きたこと、したこと、聞いたことを覚えていないだけでなく、「忘れたということ自体」に気づかない場合も多いです。

(現れ方の例：その1)

「今日は病院行く日か？」と今聞いたばかりなのに、またすぐに「今日は病院行く日？」と同じ質問を何度も繰り返す。これは聞いた内容だけではなく、聞いたということ自体を忘れてしまっているためです。

記憶は、「記銘力(きめいりょく)：新しいことを覚え込む力」

「把時(はじ)：記憶を保存する力」

「想起(そうき)：頭の中から呼び起こし再生する力」で構成されており、認知症になるとこの中でも記銘力の低下が最もできなくなるため、今経験したばかりのことも記憶できないことがおきてくるのです。

(対応のコツ)

「さっきも言ったでしょ」など説明しても、本人は質問したことも、返事の内容も忘れていたため納得してもらえません。根気よく何度も同じ返事を繰り返すようにしましょう。



(現れ方の例：その2)

食事をした直後に「まだご飯を食べていない」と言い張る。

家族が「もう食べたでしょ」等言うと「お前たちだけで食べて、ワシには食べさせないつもりだな」等言い怒りだす。

誰でも「何を食べたかメニューの一部が思い出せない」など記憶の一部を忘れることがよくありますが、認知症の場合は「起こった出来事全体をまるごと忘れてしまう」のが大きな特徴です。

(対応のコツ)

食べたことを無理に思い出させようとせず、「おなかすいたのですか？」など声をかけて果物やお菓子を少し出します。それでも納得されない場合は、もう1食用意するなど、本人が納得しやすい対応を試みましょう。



地域包括支援センター坂下

春日井市神屋町1306-1

☎：93-1314

開所時間：月～金曜日 9:00～17:30

出前講座開催、福祉サービス等の



ご相談は 左記まで

担当：戸田、飯田、永杉、木根、辻本

# 地元のお元気さん



このコーナーでは、毎回地域で活動している団体やグループ、介護予防に取り組んでいる方などをご紹介します。

## 神屋（上・下）神和会

神屋神和会は、神屋区の老人クラブです。設立は昭和36年で現在春日井市内にある112の老人クラブの中で6番目に長く活動をしているクラブです。現在の会員は112名、1か月に1回福祉の里イボ-プザで行う例会には毎月60名～70名の参加があります。

例会では、毎回体操を行い、その後はマジックショーや民謡などを楽しんだり、各方面の専門家を招いて生活や介護予防について学び合ったりした後、和やかに会食やカラオケをしています。毎年春、秋には1泊旅行、年に1回日帰り旅行もしており、今年は11月に北陸に行きます。9月19日の会では、消費生活相談員の熊谷先生を招き「身近に起こりうる悪質商法について」話を聞き、訪問販売や押し買い（家に上がり込んで貴金属などを安く買いたたく）などの手口の防止法、もしもの時のクーリングオフの仕方を学びました。

神屋区の60歳以上の方を対象に、新規入会は随時受け付けています。



### ハートフルパーキング事業

～在宅医療・介護サービスの円滑な利用を支える駐車場マッチング～

医療・介護事業者が駐車スペースのないお宅に訪問する際に、近隣の住宅や店舗駐車場の空いている時間をお借りして駐車できる仕組みです。路上駐車などを防ぎ円滑に在宅での医療・介護サービスを提供できることを目的としています。ご自宅の空いている駐車スペース、お勤め等で出かけている日中、お店の休憩時間や定休日など駐車場の空き時間の登録をしていただける方を春日井市が募集しています。対象は市内全域です。

問い合わせ先：春日井市役所健康福祉部 地域福祉課福祉企画担当（電話）85-6184

### 地域包括支援センターとは？

地域包括支援センターは、春日井市の委託により運営される高齢者に関する総合相談機関です。支援が必要な高齢者やその家族の状況に応じた各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、情報提供や関係機関との連絡調整などを行います。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

